# 財団法人まちづくり公社から株式会社まちづくり三鷹へ(公益法人改革の視点・現場からの提言)

関 幸子(株式会社まちづくり三鷹)

## 1 三鷹市のおける公益法人の推移

## 財団法人三鷹市都市施設開発公社

(昭和58年4月1日設立 2億円)

目的 都市づくりの根幹をなす都市施設整備に関する事業推進

三鷹駅前再開発を補完する事業 協同ビル化支援、代替地の駐車場管理運営 不燃化ビル整備の利子補給

再開発事業促進のための用地・建築物取得、管理及 び処分



# 財団法人三鷹市まちづくり公社

(平成8年4月1日設立 5億円 解散後は三鷹市に寄付) 目的 三鷹市における市民主体のまちづくりを支援し、住環境整備 に関する総合的なまちづくり事業を推進し、快適環境を実現する。

### 都市施設整備公社事業

まちづくり事業

まちづくり促進のための普及啓発・市民団体への支援及び助成 地区計画講習会、まちづくりセミナー、

ワークショップ形式による公園プラン作成と整備

産業振興 賃貸型工場アパートの建設整備、商業店舗施設の取得 三鷹市まちづくり研究所での研究

SOHO CITYみたか構想提言 パイロットオフイス事業

まちづくり (アメニティ・市民参加)

産業振興 SOHO 情報化(IT)

少子・

高齢化

IT化

**撫쏋和** 

征妃革

## 2 課題

- (1) 公益法人設立における許可基準が曖昧
- (2) 複数の主務官庁にまたがる法人が出現
- (3) 公益が時代ともに変化
- (4) 公共サービスの民営化が進む 市場活力の導入 介護保険、公設民営保育園等
- (5) 公益の担い手の多様化 NPO コミュニティビジネスの出現
- (6) 税優遇制度の呪縛

## 3 提案 法人設立チェックからプロセスイノベーションへ

- (1) 公益性の担保の仕方 組織だけででなく、実質的な事業制度で担保
- (2) 市場原理の導入促進多様な担い手出現にともなう委託、発注方法の開放 それにより、公益法人といえども時代の使命に合わないものは淘汰へ
- (3) 公益活動の評価 活動内容、財務内容の公表と社会評価 国の評価から第三者機関へ(公益を享受する市民の評価が必要) 指導監督強化ではく、情報開示による社会評価へ
- (4) 公益活動を行う法人、団体への支援施策の明確化 公益法人以外にも支援するルール化 (税制、委託、発注のルール化)



行政との信頼ある関係から公共サービスを実施できる 現場に近いところで政策決定できる 公益法人として市民からの信頼が厚い 株式会社まちづくり三鷹(平成 11 年 9 月 28 日設立 資本金 2 億 7250万円)中心市街地活性化法に基づく T M O

目的 市民及び事業者のイニシアティブに基づき、相互連携と地域特性を生かしたまちづくりを総合的にプロデュースし、都市整備と産業の活性化を一体的に推進する。

# 株式会社事業(定款26項目)

SOHO CITYみたか構想の推進

SOHOインキュベーション施設整備(6個所、82社)

商業施設、工場アパート施設運営、ビジネスプランコンテスト開催 地域密着型インターネットモール運営

Eコミュニティの創出

NPO, コミュニティビジネスの創出、システム等ソフト開発 三鷹光ワークス(産官学での技術開発プロジェクトの実施) まちづくりの総合コンサルティング(民間の応援団有り) まちづくり支援事業(公社時代の公益事業)

ワークショップ、地域団体助成 ふるさとセンター等の管理運営

# 株式会社への移行理由

### 戦略性の拡大

小さい組織 = ガバナンス、意思決定の早さ(柔軟性、少人数の取締役) 事業スピードの効率性 = 予算管理から資金戦略へ

小額の資本金 5億円 設立時2000万円

### 株式会社化のメリット

民間企業と自治体との橋渡し、民間企業と市民との橋渡し

NPO法人、コミュニティビジネスの創出

地域での自立ある生活、人間力

投資型非営利法人としての実績